

県コンクリート 診断士会が発足

認定制度普及図る
県初 府で 道単位 都単



発起人を代表してあいさつする石川裕夏さん（福井市の県職員会館で）

県コンクリート診断士会の設立総会が二十六日、福井市の県職員会館で開かれ、初代会長に福井宇部生コンクリートの石川裕夏常務（㊟）＝福井

市二の宮四丁目＝を選出、コンクリート診断士制度の普及に向けて取り組むことなどを申し合わせた。同会によると、都道府県単位でコンクリート診断士の組織が発足したのは初めてという。総会では発起人を代表して石川さんが「会の活動を通して、コンクリート診断士の認定制度に対する理解を深めよう」とあいさつ。議事では会長に石川さん、副会長に友竹博一さん（㊟）＝メンテナンス調査設計技術部長、監事に平井学さん（㊟）＝飛鳥建設北陸支店技術担当部長＝をそれぞれ

れ選出した。任期は二年。コンクリート診断士の認定制度は、日本コンクリート工学協会（東京都千代田区）が二〇〇一年に創設。県コンクリート診断士会によると、昨年の第二回試験までの認定・登録者数は全国で約二千人、うち県内は十四人。